

日本映画放送株式会社 第81回番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和4年5月16日(火) 15時30分～

2. 開催方式：web会議ツールを用いて実施。

3. 委員(順不同・敬称略)

web会議ツールにて出席：鈴木 嘉一・神田 由築・尾形 敏朗・砂川 浩慶・宮崎 美紀子・西 正・山川 鉄郎・倉田真由美

放送事業者：代表取締役社長 石原 隆

執行役員編成制作局局長 宮川 朋之

編成部部长 小川 英洋

編成部 三瓶 祐毅

制作部 田倉 拓紀

番審担当 澤 尚志・後藤 健(記)

4. 議題

(1) 審議事項：日本映画専門チャンネル「『おいハンサム!!』〈ディレクターズカット版〉及び特別番組の制作、放送」について

(2) 報告事項：時代劇専門チャンネル「オリジナル作品最新作『殺すな』」について

5. 議題(1)

2022年1月クールにフジテレビ系で地上放送され、熱狂的な話題を呼んだドラマ「おいハンサム!!」。東海テレビと日本映画専門チャンネルによる初共同制作ドラマで、地上波放送で初放送となった。放送後はTver FODと日本映画NETでの見逃し配信を展開し、初回見逃し配信の再生回数、全8話の見逃し配信の合計再生回数は共に東海テレビ歴代1位を記録した。日本映画専門チャンネルでは地上波放送から3ヶ月後の5月7日に、〈ディレクターズカット版〉を独占一挙放送した。これに合わせて、主演の吉田鋼太郎と脚本・演出の山口雅俊がドラマ全体を振り返るビジュアルコメンタリー特別番組も製作して放送した。

【審議のポイント】

地上波と共同制作した本作の取り組み、並びに地上波放送から3ヶ月後に日本映画専門チャンネルでディレクターズカット版及び特別番組の制作放送について。

6. 議題(1) 審議内容 ※文中敬称略

- ・他の有料チャンネルがやらないことを、日本映画専門チャンネルはやるという挑戦を評価したい。

- ・〈ディレクターズカット版〉はコアなファン層が形成されてからの方が効果的で、今回は放送のタイミングが少し早かったのでは。
- ・クスッと笑えて考えさせるバランスのよい脚本は秀逸だったし、令和における家父長ドラマの最高傑作だ。
- ・BS放送のメイン視聴者は40代以上だが、今後30代女性をターゲットにしたいのであれば、このドラマはおすすめできるコンテンツであり、ターゲットに合わせた番組編成になっている。
- ・有料配信はスポンサーにも配慮して行うものだが、地上波スポンサーにはどのように了解してもらったのか過程が気になる。
- ・原作ファンを取り込みにくくなるデメリットがあってもタイトルを変更した理由を知りたい。
- ・将棋の感想戦とか「スジナシ」のふりかえりのように、本番の裏側をのぞく番組はファンにはうれしいコンテンツであり、主演と監督のコメンタリー番組は視聴者の嗜好にも合い付加価値のあるものであった。
- ・日本映画専門チャンネルが他にないものを作るのということを視聴者に特徴付けた。

これに対して弊社からの回答は以下の通りであった。

- ・現代劇は多く制作されている今、当チャンネルならではの取り組みを考え、地上波放送から〈ディレクターズカット版〉の有料放送の試みに挑戦した。
- ・原作は『おいピータン』だけでなく、他の出版社から出版されている『チューネン娘。』『あさって朝子さん』も使っているので、ドラマタイトルには『おい』だけ残したが、原作通りのタイトルの方が視聴者に対してリーチがあったとは感じている。
- ・Netflixでの配信では国内作品トップ9位に入る大健闘を見せていて、3姉妹と同年代の女性の書き込みも増えており、放送と配信とで視聴者層の違いを感じている。
- ・地上波との組み方は始まったばかりで、キー局と当社とは放送局として競合相手でもあるので、共同制作にあたっては考えなければいけないこともあるが、今回のようなコンテンツの流通を視野にいれた制作は今後重要になるだろう。

7. 議題（2）報告事項

時代劇専門チャンネルでオリジナル時代劇7作を手掛けた井上昭監督が、藤沢周平の傑作短編小説集『橋ものがたり』の中から『殺すな』を映像化した。本作の実現にあたり井上

監督のために過去作の出演者中村梅雀、柄本拓、そして『万引き家族』の安藤サクラといった豪華キャストが集結した。本作は2022年1月28日より全国のイオンシネマ89館で劇場公開し、2月1日には時代劇専門チャンネルでテレビ初放送された。劇場公開からテレビ初放送までわずか4日間という「劇場・放送ほぼ同時展開」は過去に例を見ない史上初の取り組みであった。撮影現場に密着したNHKBSプレミアムのドキュメンタリー番組「太秦のいちばん暑い日 ～映画監督・井上昭の93年～」も好評で、再放送された。残念なことに、劇場公開まで1ヶ月を切った1月9日に井上監督が逝去され、本作が遺作となってしまった。

8. 連絡事項

次回番組審議委員会は、2022年8月23日(火)15時より開催予定。コロナ感染状況により、オンライン開催になる可能性もあり。